



● 日吉町木住の桜

発行=日吉町森林組合 〒629-0341 京都府南丹市日吉町殿田尾崎8-1
Tel=0771-72-0017 Fax=0771-72-1375
E-mail=h-sinrin@fancy.ocn.ne.jp
<http://www.720017.or.jp/>
2019年4月発行



通常総代会の報告

去る、3月23日(土)の午後、南丹市日吉町生涯学習センター(遊・YOU・ひよし)をお借りして「平成30年度(第52回)通常総代会」を開催しました。

当日は春を感じるには少し早い肌寒い日となりましたが、年度末のお忙しい時期にも関わらず、61名の総代の皆さまにご出席いただきました。これに事前届け出いただいた6通の委任状と57通の書面議決書を足し合わせると124名となり、総代会成立要件である総代定数(205名)の過半数を超え、総代会成立となりました。

来賓としてご臨席いただきましたのは、京都府南丹広域振興局・局長の岩永美好様(代理)、南丹市・市長の西村良平様(代理)、京都府府議会議員・片山誠司様、京都府森林組合連合会・代表理事会長長の青合幹夫様、京都府南丹広域振興局森づくり推進室・副室長の湯浅好洋様の5名の方々です。また、衆議院議員の田中英之様から祝文を頂戴しました。午後1時30分に、宇野組合長の挨拶をもって総代会をスタートし、来賓の方

々に御祝辞をいただいたあと、上佐々江地区総代の久野秀一様に議長をお願いして、議案の審議に入りました。

平成30年度は、間伐実施面積及び作業道開設延長が共に当初計画に達しなかったものの、木材搬出量が6年振りに1万5千立方メートルの大台に乗ることができました。その結果として、昨年度と同様に事業総取扱高が4億円を超えることが出来ました。しかし、集中豪雨や台風の影響で痛んだ作業道の補修費用が多くなり、税引前純利益は263万円となりました。したがって、組合員の皆様への出資配当につきましては、誠に申し訳ございませんが平成30年度も見送らせていただきます。平成30年度事業報告及びそれに関連する内容、平成31年度の事業計画及び関連項目の全9議案をご提案させていただきました、全て原案どおり可決承認いただきました。

ご足労いただきました総代の皆様を始め、お忙しい中を御臨席いただきました来賓の方々に、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。また、全ての組合員の皆様に、今後とも変わらぬご指導やご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



して、通常総代会の報告とさせていただきます。

平成31年度事業計画について

3月23日の通常総代会で承認された平成31年度森林整備事業計画は、間伐目標面積250畝、作業道開設延長15,500m、木材搬出量15,500m³で、地区別の森林調査及び森林整備実施箇所は次の箇所を予定しております。

【地区別一覧】

- 志和賀地区
- 中山・ヒバカリ・高山
- 保野田地区
- 大迫・齋ノ迫・安場
- 胡麻地区
- 勝山・保谷
- 畑郷地区
- 鏡坂・東谷上・滝ヶ谷・穴谷
- 田原地区
- 大山・中尾・細尾・岩ヶ谷・峠
- 四ツ谷地区
- 平の上・市田谷
- 佐々江地区
- ヒダニ・道奥谷・太田谷
- 生畑地区
- ツンダ・（倒木）・呑谷（倒木）
- 神ノ谷

木住地区

イワシガ谷

中世木地区

一本木・谷山・空ヶ谷

中・天若地区

寺谷・桂ヶ谷

殿田地区

腰林・城山・宮西

以上が地区別の森林整備実施予定箇所となります。この実施箇所を基本に事業を進めて参りたいと考えておりますが、右記以外の箇所につきましても、所有者の皆様からご要望がございましたら、計画に組み込み実施させていただきます。また、林道・作業道につきましても、路面が荒れたり、倒木があつて通れなくなっているなどありましたら、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。

（小林）



危険木の伐採について

この『森林だより』で何度もお伝えしておりますが、ここ数年勢力が大きくなっている台風により、これまでの暴風で倒れることがなかった木が倒れ、倒木による被害が多く発生しています。

特に一昨年、昨年の台風による被害は甚大で、神社や寺院の大木が折れたり倒れたりして、建物に甚大な損害が出ている箇所もあります。また、民家裏の杉・桧や広葉樹が倒れ、民家の屋根を壊したという被害もあります。

今年もどれだけ大きな台風が襲ってくるかもわかりません。台風が上陸してからは、どうすることも出来ません。「まさか」の事態が発生するまえに、その可能性を取り除き、台風が上陸しても安心していられるように対応をしておきませんか。ちよつとでもご心配な木がありましたら、組合までご連絡ください。

最近では、お寺などで専属でお仕事されている造園業者の方々からもご依頼がくるようになりました。造園業者の方々でも簡単に伐れないほど大きな木になつてしまつていたり、クレーンなどの重機が入らない場所にある大木の枝が折れる

などの被害が多くなってきているみたいです。

森林組合には、クレーンや重機が入らないような場所でも、安全に木を伐採することが出来る技術を持った職員がおります。

いつでもお気軽にご相談ください。現地確認をさせていただいた上で、御見積りさせていただきます。

なお、御見積りに関しては費用を一切いただいておりますし、高ければお断りいただいております。

少しでも皆様の不安を解消するお手伝いが出来ればと考えております。

(小林)



山林異動届等の提出について

森林だよりではお馴染みの内容となっておりますが、左記の事柄について該当される方がおられましたら、組合までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

● 名義人が高齢などの理由で家族内で名義を変更した

● 名義人が亡くなられたので相続をした
● 売買・贈与などで山の面積が増えたり、減ったりした

● 引っ越しをされ住所が変更になった
● 共有林などの代表者や会計責任者が変更になった

組合員の皆様との繋がりを、いつまでも大切にしていきたいと思っておりますので、変更がありましたらご連絡くださいますようお願い申し上げます。

(出野)



しいたけ原木贈りませんか

この時期非常に人気のある「しいたけ菌いりミニ原木」、自宅の庭で育てられると大変ご好評いただいております。そんなミニ原木を、遠方のご親戚やご友人に贈られてみてはどうですか。

特に、小さなお子様がおられるご家庭にお勧めさせていただきます。

食育という言葉をよく耳にしますが、日頃食べている「しいたけ」が、実際にどのようにできているかを、親子で育てながら学ぶことができる、まさに食育です。

組合職員の自宅横(隣の家との間)でも「しいたけ」は出ています。大量に出るとは言えませんが、出た「しいたけ」をお子様と収穫するのは大変楽しいと思います。

贈られたいと思われれば、森林組合へご連絡ください。宅配にて発送させていただきます。

なお、通常のしいたけ菌入り原木(1m)も絶賛発売中ですので、お気軽にお買い求めください。

ただし、毎年好評いただいておりますので、限りがございますので、少しでもお早め

にご購入いただくことをお勧めいたします。
（小笠原）



ハチ駆除賜ります

まだ時期は早いですが、スズメバチ駆除も森林組合でお引き受けします。ご自宅や倉庫の軒先、屋根裏などスズメバチの巣を発見しましたら森林組合へご一報ください。現地確認の上、駆除させていただきます。

聞くところによりますと、専門の駆除業者にお問い合わせすると、駆除した巣の処理費用だけで5〜6万円も請求されるとか。

昨年、森林組合で駆除させていただいたお客様に、駆除費の御見積をご提示したところ「そんなに安くでいいんですか?!」と驚かれました。

他の駆除業者との相見積りでも構いません。お気軽にご相談ください。

ただし、梯子などで到底届かない場所

にある巣については、駆除出来ない可能性がございますのでご了承ください。
（出野）



9~10月頃の巣



初期の巣

モグラの駆除賜ります

先日、森の道具屋へご来店いただいたお客様から「モグラに困ってるんやけど、全然捕獲でけへんねん」と言われました。ちょうどその少し前に、別のお客様か

ら「自宅の庭がモグラのせいでボコボコにされてるんやわ。モグラ捕ってくれへんかなあ」と言われてました。

そこで、そのお庭にお邪魔してモグラの通り道を調べ、その通り道にモグラ捕獲器を設置したところ、見事なモグラが捕れました（左記写真参照）。

もし皆様のお庭などでモグラにお困りの方がいらっしゃいましたら、森林組合までご連絡ください。調査させていただきます。（出野）



(資料提供・北桑木材センター H31, 4, 6)

スギ	中目	4 m × 18 ~ 24 cm	¥10,000 ~ 12,000	
	"	4 m × 24 ~ 30 cm	¥14,000 ~ 17,000	
	柱	3 m × 16 ~ 20 cm	¥13,000 ~ 15,000	
	"	6 m × 16 ~ 20 cm	¥13,000 ~ 15,000	
元木	良材	4 m × 24 cm上	¥25,000 ~ 30,000	
ヒノキ	柱	3 m × 16 ~ 20 cm	¥13,000 ~ 16,000	
	"	6 m × 16 ~ 20 cm	¥18,000 ~ 20,000	
	中目	4 m × 18 ~ 24 cm	¥14,000 ~ 18,000	※左記の金額は1
	土台	4 m × 14 ~ 16 cm	¥13,000 ~ 15,000	立法メートル当たりの
元木	良材	4 m、6 m共	¥40,000 ~ 50,000	金額です。

日本の春の風物詩と言え、やはり『お花見』ではないでしょうか。そのお花見に欠かせないのが『桜』です。

この桜について最近ふと不思議に思うことがあります。皆様はご存じでしょうか。「桜はなぜ葉よりも先に花が咲くのだろうか」ということと、天気予報でもよく言われる「桜前線」というものがなぜ存在するのだろうかということ。色々と調べていると「へえー」と思うことばかりでしたので、この「あとかぎ」の記事とさせていただきます。

まず、花が先に咲く植物は当然サクラだけではなく、ウメ・モモ、コブシ、ハナミズキなどがあります。種子から発芽したばかりの草花では花を先に咲かせることはできず、幹や根に十分栄養を蓄えている樹木だからこそできるものだということです。

で、花を先に咲かせることが出来ると、昆虫や鳥たちが見つけやすく、花やその蜜に寄ってきた昆虫や鳥たちによって花粉を媒介（虫媒花）してもらえらるという狙いがあるそうです。また、花と葉が開き出す温度の違いも要因の一つと言われ

ております。

次に『桜前線』についてですが、現在お花見などで見かける多くの桜は『ソメイヨシノ』と言われる品種がほとんどです。このソメイヨシノですが、千本桜で有名な奈良県吉野村の桜が広がったわけではありません。吉野村の桜は山桜でソメイヨシノとは別品種です。

ソメイヨシノは、現在の東京都豊島区駒込巢鴨にある染井村の植木職人たちが江戸時代後期に「オオシマザクラ」と「エドヒガンザクラ」を交配して作られた品種と言われております。そして当時は千本桜で有名な吉野に肖り「吉野桜」の名称で売られ、大人気となり全国に広まっていったと考えられています。

また、日本全国のソメイヨシノは挿し木や接ぎ木で増やされたもので、いわばほとんどがクローンです。そのため、そのほとんどのソメイヨシノが一定の温度条件で開花するため、この季節になると『桜前線』というものが天気予報に現れるということなのです。

サクラ一つとってもなかなか奥が深いのです。

(小林)